

高齢の方のためのアンケート調査にご協力をお願いいたします



ケアマネジャーの皆様には、日頃より高齢者福祉行政にご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

小金井市は、高齢の方が健康で住み慣れた地域で安心して住み続けることができるまちを目指して、「小金井市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画」の策定を予定しています。この度、計画策定のためのアンケート調査を実施することとなりました。

ご多忙の折、大変恐縮ではございますが、調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和7年11月 小金井市

調査について

この調査は、これからの小金井市の高齢者保健福祉施策や、介護保険サービスを検討するうえでの重要な調査です。皆さまのご意見やご要望をお伺いし、計画策定にあたって、できる限り反映いたします。

対象者

居宅介護支援事業所・介護予防支援事業所に在籍するケアマネジャーの中から無作為に選ばれた方

回答期間

令和7年11月1日（土）～令和7年**11月21日（金）**まで

※ 調査結果は、令和8年4月以降に市のホームページにて掲載予定です。

※ 回答は、統計的に処理いたしますので、お答えいただいた方にご迷惑をおかけするようなことは一切ございません。

回答方法

WEBで回答する方法と、調査票に直接記入し郵送する方法のどちらかひとつをお選びください。

WEB



スマートフォンで下記の二次元コード、小金井市のホームページ、または、下記URLにアクセスし、ご回答ください。

小金井市ホームページから
トップページ>健康・福祉>高齢者福祉>お知らせ>●●●…

<https://sample.webcas.com/sample/sample/sample>

確認番号：123456

QRコード

郵送

- ① 調査票に記入し、同封の封筒に入れてください。
- ② 切手を貼らずに、ポストに投函してください。



郵送でご回答の方へ：回答の記入方法

- あてはまる選択肢の番号に○をつけてください。
- 「その他」に○をつけた方は、() 内に具体的にその内容をお書きください。

プライバシーの保護に万全を期しています

回答は、統計的に処理いたしますので、お答えいただいた方にご迷惑をおかけするようなことは一切ございません。

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりです。

なお、本調査へのご回答をもって、下記について同意いただいたものとさせていただきます。

- この調査は、効果的な高齢者保健福祉・介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、計画策定の目的以外には利用いたしません。また、当該情報については、小金井市において適切に管理いたします。

あなたについておたずねします

問1 あなたの性別はどちらですか。(1つに○)

- | | | |
|-------|-------|---------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. そのほか |
|-------|-------|---------|

問2 現在のあなたの年齢は次のどれですか。(1つに○)

※ 令和7年11月1日現在の年齢でお答えください。

- | | |
|---------|----------|
| 1. 20歳代 | 4. 50歳代 |
| 2. 30歳代 | 5. 60歳代 |
| 3. 40歳代 | 6. 70歳以上 |

勤務形態についておたずねします

問3 1か月の超過勤務時間はどのくらいですか。(1つに○)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 10時間未満 | 4. 30～40時間未満 |
| 2. 10～20時間未満 | 5. 40時間以上 |
| 3. 20～30時間未満 | |

問4 どのような業務に負担感がありますか。(いくつでも○)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. ケアプラン作成 | 9. 主治医や医療機関との連絡・調整 |
| 2. アセスメントの実施 | 10. 利用者と家族の間の連絡・調整 |
| 3. モニタリング | 11. サービス事業者への連絡・調整 |
| 4. 利用者宅の訪問 | 12. 相談業務 |
| 5. 居宅介護支援経過の記録 | 13. 苦情対応 |
| 6. 給付管理 | 14. 法定外サービス |
| 7. 入所・入院先の相談・手配 | 15. その他〔具体的に： 〕 |
| 8. サービス担当者会議の開催・調整 | 16. 特に負担感はない |

問5 今後ケアマネジャーの仕事が続けていくに当たり、どのような改善が必要だと思いますか。(いくつでも○)

- | | |
|------------|----------------|
| 1. 報酬の低さ | 4. 人手不足 |
| 2. 労働時間の長さ | 5. 事務処理の煩雑さ |
| 3. 職場の人間関係 | 6. その他〔具体的に： 〕 |

ケアマネジメントの状況についておたずねします

問6 ケアプランの作成にかかわる人はどなたですか。(いくつでも○)

- | | |
|------------|----------------|
| 1. サービス担当者 | 3. 医療関係者 |
| 2. 利用者・家族 | 4. その他〔具体的に： 〕 |

問7 ケアプランの作成が困難だったケースはどの程度ありますか。(1つに○)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 困難なケースが多い | 3. 困難なケースはほとんどない |
| 2. 困難なケースが少しある | |



問7-1 問7で「1. 困難なケースが多い」、「2. 困難なケースが少しある」と答えた方におたずねします。

困難だったのは、どのようなケースですか。(いくつでも○)

- | |
|------------------------------------|
| 1. 権利擁護を必要とするケース |
| 2. 認知症高齢者のケース |
| 3. 胃ろう、経管栄養などの医療処置を行っているケース |
| 4. ひとり暮らしでキーパーソンがいないケース |
| 5. ケアプランの内容について本人や家族からの理解が得られないケース |
| 6. 経済や住宅に困窮する生活面での支援が必要なケース |
| 7. 施設から退所したばかりのケース |
| 8. その他〔具体的に： _____〕 |

問7-2 問7で「1. 困難なケースが多い」、「2. 困難なケースが少しある」と答えた方におたずねします。

困難だったケースについて、どこかに相談しましたか。(いくつでも○)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 事業所内で相談した | 4. 介護福祉課に相談した |
| 2. 他事業所のケアマネジャーに相談した | 5. その他〔具体的に： _____〕 |
| 3. 地域包括支援センターに相談した | 6. 特に相談していない |

アセスメントの実施状況についておたずねします

問8 アセスメントを実施する際に難しいと感じることは何ですか。(いくつでも○)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 利用者の身体状況を見極めること | 5. 必要なサービス量を判断すること |
| 2. 利用者の生活状況を見極めること | 6. 時間がないために、十分に行えないこと |
| 3. 利用者や家族の意向を明らかにすること | 7. 自立支援に資すること |
| 4. 医療系サービスの要否を判断すること | 8. 特にない |

問9 1回当たりのモニタリング、アセスメントに要する平均時間はどのくらいですか。

初 回	平均 (_____) 分
2回目以降	平均 (_____) 分

市内のサービス提供体制についておたずねします

問10 ケアプランを作成するにあたって、利用しにくいと感じているサービス、また、量的に不足していると感じるサービスは何ですか。(いくつでも○)

利用しにくいと感じるサービス	量的に不足していると感じるサービス
1. 訪問介護	1. 訪問介護
2. 訪問入浴介護	2. 訪問入浴介護
3. 訪問看護	3. 訪問看護
4. 訪問リハビリテーション	4. 訪問リハビリテーション
5. 居宅療養管理指導	5. 居宅療養管理指導
6. 通所介護	6. 通所介護
7. 地域密着型通所介護	7. 地域密着型通所介護
8. 通所リハビリテーション	8. 通所リハビリテーション
9. 短期入所生活介護	9. 短期入所生活介護
10. 短期入所療養介護	10. 短期入所療養介護
11. 特定施設入居者生活介護	11. 特定施設入居者生活介護
12. 福祉用具貸与	12. 福祉用具貸与
13. 特定福祉用具販売	13. 特定福祉用具販売
14. 住宅改修・介護予防住宅改修	14. 住宅改修・介護予防住宅改修
15. 小規模多機能型居宅介護	15. 小規模多機能型居宅介護
16. 看護小規模多機能型居宅介護	16. 看護小規模多機能型居宅介護
17. 夜間対応型訪問介護	17. 夜間対応型訪問介護
18. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	18. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
19. 認知症対応型通所介護	19. 認知症対応型通所介護
20. 認知症対応型共同生活介護	20. 認知症対応型共同生活介護
21. 地域密着型特定施設入居者生活介護	21. 地域密着型特定施設入居者生活介護
22. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	22. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
23. 介護老人福祉施設	23. 介護老人福祉施設
24. 介護老人保健施設	24. 介護老人保健施設
25. 介護医療院	25. 介護医療院
26. 総合事業訪問型サービス(現行相当)	26. 総合事業訪問型サービス(現行相当)
27. 総合事業訪問型サービス(市基準)	27. 総合事業訪問型サービス(市基準)
28. 総合事業通所型サービス(現行相当)	28. 総合事業通所型サービス(現行相当)
29. 総合事業通所型サービス(市基準)	29. 総合事業通所型サービス(市基準)
30. 特にない	30. 特にない

問11 介護保険以外のサービス等を組み入れてケアプランを作成していますか。

(1つに○)

1. 作成している	2. 作成していない
-----------	------------



問11-1 問11で「1.作成している」と答えた方におたずねします。

ケアプランを作成する際に検討したことがあるのはどのようなサービスですか。

(いくつでも○)

フォーマルサービス 行政等が制度に基づいて支援するサービス	インフォーマルなサービス 制度外で支援しているサービス
1. 配食サービス 2. 家事援助のサービス 3. 移動支援のサービス 4. 見守り支援サービス 5. その他 [具体的に：]	1. 配食サービス 2. 家事援助のサービス 3. 移動支援のサービス 4. 見守り支援サービス 5. その他 [具体的に：]

問12 高齢者の在宅生活を支えるために、これから充実が必要だと思う「活動」や「生活支援」は次のどれだと思いますか。(いくつでも○)

1. 見守り・安否確認の声かけ	11. 訪問歯科診療
2. ごみ出し・洗濯等の家事援助	12. 寝具乾燥消毒サービス
3. 話し相手・傾聴	13. 服薬管理
4. 通院介助・外出支援	14. 夜間の見守り
5. 配食サービス	15. 金銭管理、財産保全管理
6. 会食サービス・カフェ	16. 成年後見制度の相談・情報提供
7. ふれあいサロン	17. 近隣との付き合い
8. 日常品の買い物支援	18. その他[具体に：]
9. 紙おむつの給付	19. 特にない
10. 訪問理美容サービス	

問13 現在、小金井市では以下のような高齢者保健福祉サービスを実施していますが、今後一層の充実が必要と思うサービスは次のどれですか。(いくつでも○)

選択肢	サービス名	内容
1.	自立支援日常生活用具給付	虚弱な高齢者の方に、入浴補助用具・手すり等の日常生活用具を給付する
2.	自立支援住宅改修の給付	身体的理由により住宅設備改修が必要と認められる虚弱な方に、浴槽や洗面台の交換、便器の洋式化など改修に要する費用を給付する
3.	寝具乾燥	寝具類等の衛生管理が困難な方の寝具類を月1回、車で回収し、乾燥する
4.	配食サービス	調理が困難な方、食事の自己管理が困難な方等に、夕食を配達する
5.	おむつサービス	在宅でおむつが必要な方を介護している家族の方に、紙おむつ、尿取りパット等を配達する
6.	入浴券給付	ひとり暮らし等の人で自宅に風呂設備のない方に入浴券を配布する
7.	ことばき理容券の給付	市内の協力店で調髪、洗髪等に利用できる割引券を配布する
8.	高齢者福祉電話の貸与	ひとり暮らし等の方に、安否確認、孤独感解消のため電話を貸与する
9.	救急通報システムの貸与	慢性疾患などにより、常時注意を要するひとり暮らし等の方に貸与する
10.	徘徊高齢者探知機器の貸与	高齢者が徘徊してもすぐに見つけられるよう、発信器を貸与する
11.	見守りシール	徘徊等の可能性のある高齢者を対象に、個人情報をお知らせせずに家族等へ連絡がとれるIDが記載されたシールを提供する
12.	ひと声訪問（牛乳の配達）	牛乳等の配達により、ひとり暮らしの方等の安否確認を行う
13.	友愛活動員の訪問	友愛活動員がひとり暮らしの方や日中独居の方を訪問、電話による話し相手になる
14.	特別生活援助	ひとり暮らしの虚弱な方等に、大掃除等のサービスを提供する
15.	家具転倒防止器具等取付け	65歳以上の世帯の方等に災害から生命及び財産を守るため、家具の転倒防止器具等を取り付ける
16.	特にない	

※ サービスの利用に関しては、介護保険の要介護度や、市民税非課税世帯などの利用条件があるものもあります。また、一部利用者負担がある場合があります。

問14 配食サービスに望むものは何ですか。(いくつでも○)

1. 栄養バランスのよい食事	5. 食事の量を選べること
2. 配達員による見守り支援	6. 特別食(刻み食など)への対応
3. 希望する時間や曜日に対応できること	7. その他〔具体的に： 〕
4. 献立やメニューが豊富なこと	8. 特にない

施設入所についておたずねします

問15 あなたが、この1年間で、施設入所を勧めた件数をお書きください。

件

問15-1 問15で施設入所を勧めた方についておたずねします。

勧めたケースの世帯構成とその世帯数をお答えください。

- | | | | |
|-------------------------|---|----|----|
| 1. 一人暮らし | (| 件) | |
| 2. 夫婦二人暮らし (配偶者 65 歳以上) | (| 件) | |
| 3. 夫婦二人暮らし (配偶者 64 歳以下) | (| 件) | |
| 4. 息子・娘との二世帯 | (| 件) | |
| 5. その他〔具体的に： | 〕 | (| 件) |

在宅医療の支援についておたずねします

問16 あなたがサービスを提供している利用者の中に、往診が必要と思われる方はいますか。(1つに○) (※患者さんの求めに応じて急変時に行う診療)

1. いる

2. いない

問16-1 問16で「1. いる」とお答えの方におたずねします。あなたは、必要な方に往診が十分行われていると思いますか。(1つに○)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 十分行われている | 3. あまり行われていない |
| 2. ある程度行われている | 4. 全く行われていない |

問16-2 問16-1で「3. あまり行われていない」または「4. 全く行われていない」とお答えの方におたずねします。

必要なのに実施していないのはなぜですか。(1つに○)

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1. 利用者が受けがらない | 4. かかりつけ医が不要と判断している |
| 2. 家族が受けがらない | 5. かかりつけ医がいない |
| 3. 対応してくれる医療機関等が見つからない | 6. その他
〔具体的に： |

問17 あなたがサービスを提供している利用者の中に、訪問診療が必要と思われる方はいますか。(1つに○) (※通院の困難な患者さん宅に訪問して行う診療)

1. いる	2. いない
-------	--------



問17-1 問17で「1. いる」とお答えの方におたずねします。

あなたは、必要な方に訪問診療が十分行われていると思いますか。(1つに○)

1. 十分行われている	3. あまり行われていない
2. ある程度行われている	4. 全く行われていない



問17-2 問17-1で「3. あまり行われていない」または「4. 全く行われていない」とお答えの方におたずねします。

必要なのに実施していないのはなぜですか。(1つに○)

1. 利用者が受けたがらない	4. かかりつけ医が不要と判断している
2. 家族が受けたがらない	5. かかりつけ医がいない
3. 対応してくれる医療機関等が見つからない	6. その他 [具体的に：]

問18 あなたがサービスを提供している利用者の中に、訪問看護や訪問歯科診療、訪問服薬管理指導が必要と思われる方はいますか。

(①から③についてそれぞれ1つに○)

①訪問看護が必要と思われる方	1. いる	2. いない
②訪問歯科診療が必要と思われる方	1. いる	2. いない
③訪問服薬管理指導が必要と思われる方	1. いる	2. いない

問19 専門職の立場からみて、市内で在宅療養している高齢者の急変時に医療機関へのスムーズな移行が行われていると思いますか。(1つに○)

1. 行われていると思う	3. あまり行われていないと思う
2. ある程度行われていると思う	4. まったく行われていないと思う

問20 医療と在宅ケアの関係で苦労していることは何ですか。(いくつでも○)

1. 医師がケアマネジャーとの連携を必要と感じていない
2. 医師や医療従事者がケアマネジャーにサービス以外の家庭対応まで依頼すること
3. 医療従事者が関係している場合の方向性をケアマネジャーがまとめていくことが難しい
4. 利用者の体調が悪くなくても臨時往診して貰えず、ケアマネジャーが付き添うことになり、業務外の負担が大きい
5. 主治医と連絡が取りにくい
6. 退院時のカンファレンスを開かない病院がある
7. 多くの医療機関を利用している場合、総合的な体調管理などをどこまで責任を持ってできるか、また、どこに相談してよいか悩む
8. 訪問診療が不足している、また、往診を行っているかわからない病院がある
9. 主治医連絡票では伝わらない細かなニュアンスを伝えたい時は、通院に同行する以外に手段がない
10. その他〔具体的に：]

問21 高齢者の在宅医療を進めていくうえで不足している機能はどのようなことだとお考えですか。(いくつでも○)

1. 訪問診療や往診をしてくれる診療所
2. 訪問看護（訪問看護ステーション）
3. 訪問・通所リハビリテーションなどリハビリテーション施設
4. 介護老人福祉施設や介護老人保健施設などの介護保険施設
5. 一人ひとりの状況に応じて関係者が連携して対応するチームケア
6. 在宅療養をしている方の状況変化時に受け入れ可能な入院施設
7. その他〔具体的に：]

問22 在宅介護の限界、施設入所を意識する要因は何だとお考えですか。(いくつでも○)

- | | |
|----------------------|---|
| 1. 家事が全介助になったとき | 9. 昼夜逆転がひどくなったとき |
| 2. 移動が全介助になったとき | 10. 火の不始末が目立ち始めたとき |
| 3. 更衣が全介助になったとき | 11. 本人に入所希望があるとき |
| 4. 排せつが全介助になったとき | 12. 介護者に入所希望があるとき |
| 5. 一日に頻回の医療的処置が必要なとき | 13. 介護をしてくれる身内がないとき |
| 6. 薬の管理ができなくなったとき | 14. サービス利用料が施設入所と変わらない程度になったとき |
| 7. もの忘れがひどくなったとき | 15. その他 |
| 8. 徘徊がひどくなったとき | 〔具体的に：] |

医療・介護の連携についておたずねします

問23 医療と介護の連携を図るうえでの情報の共有化をどのように進めればよいと思いますか。(いくつでも○)

1. 顔の見える関係をつくれる機会を増やす
2. 医療と介護の両方で使えるツールをつくる
3. 医療と介護の共通認識が図れる書式をつくる
4. 個人の情報を1枚のカードで医療と介護が共有できるシステムをつくる
5. サービス担当者会議やカンファレンスへのかかりつけ医の出席
6. 連絡しやすい時間の設定や連絡しやすい窓口の設定
7. その他〔具体的に：

〕

問24 市の担当者と連携するときはどのような場合ですか。(いくつでも○)

1. 支援困難事例への対応
2. ケースカンファレンス
3. 苦情相談への対応
4. 介護保険以外のサービスや制度の利用
5. 介護保険法で判断に困るとき
6. 独居者への対応
7. 虐待が認められる・虐待のおそれのあるケースへの対応
8. 精神疾患の方への対応
9. その他〔具体的に：
10. 特に連携していない

〕

問25 在宅療養者への医療・介護は、サービス担当者会議などを通じて連携していると思いますか。(1つに○)

1. 十分連携している
2. ある程度連携している
3. 連携が不十分である
4. ほとんど連携していない

問26 在宅医療と介護の連携を円滑にするための仕組みづくりのために、どのようなことが必要だとお考えですか。(いくつでも○)

1. 他職種との顔の見える関係づくり、交流を進める
2. 「ケアマネタイム」の充実を図る
3. 在宅医療・介護連携支援室の活動を充実させる
4. 医療と介護の連携シート(主治医連絡票等)を活用する
5. 入退院時に関する医療と介護の連携方法を明確にする
6. ICTの利活用を推進する
7. 医療・介護の相互理解・連携のための専門研修を増やす
8. その他〔具体的に：

〕

認知症の介護支援についておたずねします

問27 担当する認知症の方の状況で、実際に大変だったのは次のどれですか。

(いくつでも○)

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 本人や家族が医療機関を受診しない 2. 本人の意思の確認が取れない 3. 家族が認知症であることを認めない 4. 服薬管理ができない 5. サービス拒否がある 6. 症状が急変して緊急対応が必要になる 7. 適切なサービスが受けられない 8. 消費者被害に遭遇している 9. 虐待を受けている 10. 本人や家族間で介護の方針が食い違う 11. 身体疾患があり医療的な管理が難しい 12. その他〔具体的に： | 〕 |
|--|---|

問28 認知症の方の支援にあたっては、かかりつけ医と十分連携していると思いますか。

(1つに○)

- | | |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 十分連携している 2. ある程度連携している | <ol style="list-style-type: none"> 3. 連携が不十分である 4. ほとんど連携していない |
|--|--|

問29 認知症の早期受診が進まない原因は、次のどれだと思いますか。(いくつでも○)

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症を診断できる医師が少ない 2. 認知症が病気であると認識されていないこと 3. 本人が受診を嫌がること 4. 認知症と診断されるのを恐れていること 5. 家族や周囲の人が本人のプライドを傷つけるため言いにくいこと 6. 家族が認知症の認識がないこと 7. どこに受診すればよいかわからないこと 8. その他〔具体的に： | 〕 |
|--|---|

問30 これから、認知症の方の支援にあたり必要になると思うのは次のどれですか。

(いくつでも○)

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 状態に応じた適切なサービス提供の流れが示されること2. 社会資源（施設、サービス）がより増えていくこと3. 早期診断を担う医療機関が増えていくこと4. 地域で、認知症サポーターの活動の輪が広がること5. かかりつけ医やケアマネジャー等の認知症に対する理解と対応力が向上すること6. 地域包括支援センターにおける認知症の地域支援が充実していくこと7. 地域ケア会議など専門的な支援体制が充実すること8. 認知症の方や家族支援が充実していくこと9. その他〔具体的に： | 〕 |
|---|---|

問31 「新しい認知症観」という言葉を聞いたことがありますか。また、その内容についてご存じですか。(1つに○)

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 内容を含めて知っている2. 言葉は聞いたことがあるが内容は知らない3. 知らない |
|---|

※新しい認知症観とは、認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になっても、一人ひとりが個人としてできることややりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間などつながりながら、希望をもって自分らしく暮らし続けることができるという考え方です。

問32 「新しい認知症観」を広めるためにどのような取組が必要だと思いますか。

(いくつでも○)

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 認知症に関する正しい知識を広める教育・啓発活動の強化2. 医療・介護現場での新しい認知症観に基づいたケアの普及3. 認知症カフェなど、地域の交流拠点の設置・活用4. 認知症の人が働きやすい環境の整備等企業・職場での取組5. ピアサポート活動等の当事者の声を反映する活動6. その他（ | ） |
|---|---|

ケアマネジメントの質の向上についておたずねします

問33 サービスの質の向上に向けた研修に参加していますか。(1つに○)

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 法人内および外部の研修に参加 | 3. 外部の研修にのみ参加 |
| 2. 法人内の研修にのみ参加 | 4. 研修には参加していない |

問34 事業所内では、定例的な研修や勉強会はありますか。(1つに○)

- | | | |
|-------|--------------|-------|
| 1. ある | 2. 定例ではないがある | 3. ない |
|-------|--------------|-------|

問35 地域包括支援センターとのつながりはありますか。(いくつでも○)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 介護予防プランの作成で指導や助言をもらっている |
| 2. 地域包括支援センター主催の事例検討会や研修に参加している |
| 3. サービス担当者会議でセンター職員に出席してもらっている |
| 4. 個別事例等の相談で指導や助言をもらっている |
| 5. 困難事例や虐待への対応で連絡をとっている |
| 6. その他〔具体的に： |
| 7. 特につながりはない |

問36 今後、地域包括支援センターへ期待することは何ですか。(いくつでも○)

- | |
|---|
| 1. 介護予防ケアマネジメント(要支援者の介護予防ケアプラン)を通じた介護予防 |
| 2. 地域支援事業を通じた介護予防 |
| 3. 市役所などへの要望事項の取りまとめや仲介 |
| 4. ケアマネジャーに対する個別指導・相談 |
| 5. ケアマネジャー同士が気軽に情報交換、交流ができる機会 |
| 6. 困難事例の相談 |
| 7. 地域包括支援センター担当区域におけるケアマネジャーのネットワークづくり |
| 8. 多職種協働・連携による包括的・継続的ケアマネジメント支援 |
| 9. フォーマルサービスとインフォーマルケアの調整 |
| 10. 要介護高齢者の実態把握と対応 |
| 11. 高齢者の虐待防止・権利擁護 |
| 12. その他〔具体的に： |

問37 ケアマネジャーに求められる中立性・独立性を確保するために、どのような支援が必要だと思いますか。(いくつでも○)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 事業者間の連絡調整・連携を強化するための支援 |
| 2. ケアマネジャーの技術向上のための支援 |
| 3. ケアマネジャーのためのメンタルヘルスケア |
| 4. 処遇困難者への対応またはその支援 |
| 5. 利用者や家族の介護保険制度の理解向上に向けた取り組み |
| 6. その他〔具体的に： |

高齢者の虐待について

問38 これまでに、業務を通じて高齢者虐待が疑われるような場面に遭遇したり、虐待に関する話や相談を受けたことはありますか。(いくつでも○)

1. 自分が虐待の場面に遭遇したことがある
2. ほかに人から虐待の話聞いたことがある
3. 被害者本人から虐待の相談を受けたことがある
4. 被害者の周囲の人から虐待の相談を受けたことがある
5. その他〔具体的に： 〕
6. 虐待に関して見たり聞いたりしたことはない

問39 専門職の立場からみて、高齢者虐待を未然に防ぐために必要なことは何だとお考えですか。(いくつでも○)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 虐待に対する知識の普及啓発 | 5. サービス提供者のストレスチェック |
| 2. 家族介護者等の負担軽減に向けた支援 | 6. サービス提供時のチェック |
| 3. 家族介護者等の相談対応 | 7. 地域での見守り体制 |
| 4. 要介護者の相談対応 | 8. その他〔具体的に： 〕 |

今後の介護サービス、高齢者福祉について

問40 「介護保険制度」全体をよりよくするための環境整備として、市が力を入れるべきことは次のうちどれだと思いますか。(いくつでも○)

1. サービス事業者の質を高める取組を行うこと
2. ケアマネジャーやホームヘルパーなどの人材を育成すること
3. 市内に特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設を増やすこと
4. 利用料を補助するなど、利用者の費用負担を軽減する経済的給付を増やすこと
5. 寝たきりにならないよう、介護予防のサービスに力を入れること
6. 地域全体で介護を支援するしくみづくりを行うこと
7. 在宅サービスや地域密着型サービスのような身近な地域でサービスが受けられる拠点を増やすこと
8. 困ったときに気軽に介護相談ができる場所を増やすこと
9. 家族介護の負担を軽減する保健福祉サービスを充実すること
10. 介護保険を効率的に運用するしくみづくりを行うこと
11. 地域包括支援センターの機能を充実すること
12. 介護保険サービス利用の制限をカバーする保健福祉サービスを充実すること
13. その他〔具体的に： 〕
14. わからない

その他・市への要望についておうかがいします

問41 今後、ケアマネジャーの人材育成等について、市に支援をしてほしいことはなんですか。(いくつでも○)

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 自立支援、重度化防止の研修 | 4. ICTの導入支援 |
| 2. 研修受講時の補填 | 5. ケアプランの相談対応 |
| 3. 資格取得に対する支援 | 6. その他〔具体的に： 〕 |

問42 高齢者支援施策について、小金井市へのご意見・ご要望や知りたい情報などがありましたら、ご自由にお書きください。

——ご協力ありがとうございました——